

## 実践報告 札幌市立東月寒中学校

### (1) 研究内容

研究課題：「人権教育を基盤とした学校づくり等の研究」

- 認知症や地域高齢者への支援方法や接し方を学ぶことによって、思いやりの心や人権感覚を養い、いじめをはじめとする様々な人権課題に対して正しく判断し、行動できる生徒を育成する。

### (2) 実践の内容

【実践①】全校道徳による講演会について

○ねらい

様々な年代の人々との接し方を学ぶことによって、思いやりの心や人権感覚を養う。同世代との対人関係づくりにも視野を向け、年齢や性別による違いに関係なく、よりよい関係を築いていくことができる生徒を育成する。

○学習内容

日本アンガーマネジメント協会の山本康夫氏による、「よりよい対人関係を築いていくための方法」というテーマの講演会を1月に実施した。

【実践②】高齢者との交流や施設訪問ボランティアについて

○ねらい

普段の生活の中で関わりの少ない高齢者とのいろいろな交流活動を通して、マナーや礼儀を学ぶとともに、敬老の意識を高め、思いやりの心を育成する。

○学習内容

全校生徒に対してボランティアを募り、施設との交流や施設訪問を行った。

交流内容

- (1) 全校集会への参加…施設の紹介、高齢者の方からの雑巾の寄贈
- (2) 花植え…施設の方と交流のシンボルとして花植えを行い、プランターを施設に寄贈
- (3) 施設の夏まつりへの参加…ボランティアによる施設訪問、交流活動
- (4) クリスマス訪問…クリスマスカードを作成し、一人一人手渡した。



### 【実践③】独居老人宅へ年賀状のボランティアについて

#### ○ねらい

普段、会話する機会の少ない高齢者に年賀状を送り、年賀状のやり取りを通して、高齢者を見守る意識を養うとともに、思いやりと敬老の意識を高める。

#### ○学習内容

生徒会活動の一環として、ボランティア生徒を募り、地域との交流の一環として、年賀状作成および発送を行った。

### 【実践④】性別によらない名簿の作成、活用について

#### ○ねらい

同世代との対人関係づくりにも視野を向け、年齢や性別による違いに関係なく、より良い関係を築いていくことができる生徒を育成する。

#### ○学習内容

用途に応じて、可能な限り性別によらない名簿を作成、活用していった。

### 【実践⑤】認知症サポーター養成講座（1年）について

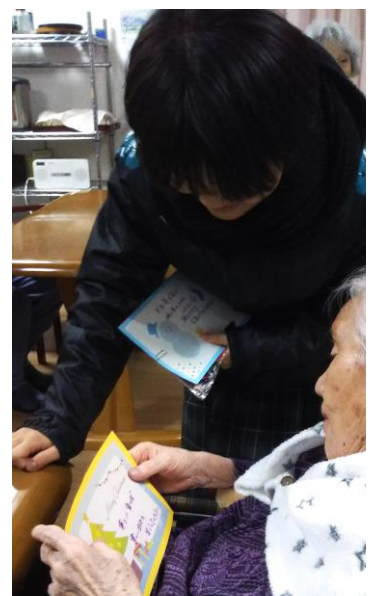
#### ○ねらい

認知症について学習し、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し、思いやりの心をもつ。また、地域の高齢者に対し、思いやり・感謝・敬老の精神を養う。

#### ○学習内容

学年集会において、札幌市豊平区第2地域包括支援センターの方による講演会を認知症サポーター養成講座として行った。

### 《ボランティア活動の様子》



### (3) 研究のまとめ

#### ① 成果

- ・「人とつながる力」を育成することができた。
- ・地域との交流の機会を多く設定することができた。
- ・年間で様々な種類のボランティア活動を行なった結果、得意な内容や興味のある内容に対して、多くの生徒の参加を促すことができた。昨年度から継続して参加する生徒も多いが、新しくボランティア活動に参加する生徒が多かった。
- ・今年度も外部から複数の講師をお招きして、様々な角度から「人とつながることの大切さ」を学ぶ機会を設定することができた。また、中学生とは違う立場の方に対して、自分ができることを考えることができた。

#### ② 課題

- ・豊かな心を育んでいくためには、1回の学習活動で効果が期待できるものではない。長期的に進めていく必要があるので、教育課程に位置付け、継続して学校全体で推進していくことが必要である。
- ・小・中学校において連続した学びとなるように、系統性のある取組が必要である。
- ・講演会やボランティア活動などの時だけではなく、日常の中で生徒たちの豊かな心が育つように、一層工夫していくことが必要である。
- ・自分と立場の違う人々のことを他人事と考えている生徒はまだ多い。豊かな心を育んでいくためにも、継続して行っていく必要がある。
- ・生徒に関わる周囲の大人が、人権意識をしっかりともって生徒に接していくことが大切である。

#### ③ 提言「人権教育のすすめ」

- ・豊かな心を育んでいくためには、長期的に、学校全体で推進していくことが必要である。
- ・講演会やボランティア活動などの時だけではなく、日常の中で生徒たちの豊かな心が育つように、教員が適切に関わっていくことが必要である。